

自ら学び 自ら鍛える

Team 北中

令和6年度 学校報 第4号 令和6年 7月 2日

発行責任者：瑞浪北中学校校長 岩島 哲也

担当者：瑞浪北中学校教頭 後藤 正英

<キーワード> 『たくましさ』を示す北中生

聴き手に想いが伝わる発表・・・最優秀賞受賞おめでとう！！

6月16日（日）、瑞浪市総合文化センターにて瑞浪市主張大会が開催されました。

本校からは、3年C組のモベラ ミキさんが出場しました。ミキさんは、1カ月程前から国語科担当、3年所属職員と共に、地道に練習を重ね、表現力を高めました。6月13日（木）の朝には、体育館にて全校の前で発表しました。これまでの練習の成果が表れている、**聴き手をひきつける発表**でした。

そして、16日の主張大会当日。中学校の中では最初の発表者でしたが、実に堂々としていて、表情も豊かで**聴き手に想いが伝わる発表**でした。

後日、本人から、「今までの成果が出て嬉しかったです。家族や雅先生、酒井先生、原先生には感謝の気持ちでいっぱいです。それに、全校の前での発表した後、3年生が感想を書いて渡してくれました。それがとても嬉しかったし、その感想を読んで、自信をもつことができました。もし、県大会に出場することができたら、**市内大会の自分を超えたい**と思います。」という、お世話になった人への感謝の気持ちと、新たな決意を聴くことができました。こういう想いをもってからのこそ、聴き手にも伝わると思いました。

以下に、発表原稿を掲載します。読んで感想をお聞かせ頂けたら有難いです。宜しくをお願いします。

「どこの出身ですか」

瑞浪北中学校 三年 モベラ ミキ

「どこの出身ですか。」

私はこの質問をされたとき、戸惑ってしまいます。なぜかという、私には育った国、というより育った文化が二つあるからです。

私はフィリピンで生まれ、まだ記憶にない頃に日本へ渡りました。私の両親はフィリピン人で、家ではフィリピンの食べ物を食べ、英語で話しています。でも、外では日本の学校に通い、日本語で話します。そんな生活をずっと続けてきました。「英語の授業がよく分かる」みたいに二つの文化で育ったおかげで得することもあります。しかし、差別を受けたわけではないけれど、「日本人」という日本人同士でしか共感できない会話を耳にすると、私の中で「周りと違う…」と思うことがあるのです。

中学校一年生のとき、一か月間フィリピンに滞在しました。本来の目的は親戚に会うことでしたが、私の中では「フィリピンで、いつもの私を発揮する」ことを密かに目標にしました。私は、私の「普通」が日本で「違う」のなら、フィリピンに行くことで「当たり前」になれるのだ、と信じていたのです。

長年、会えていなかった祖父母や親せきに会い、とても楽しい一時を過ごしました。そしてそのときに、「いつもの」自分になってやろうとしました。一でも、フィリピンは日本と違います。お金も違うし、気候も全く違います。道路やトイレの設備も、全く違うのです。私が住み慣れた日本と違う生活を送るにつれ、私の「普通」は、フィリピンでも「違う」のだと気づきました。

それでは「どこの出身ですか。」と聞かれた時、どこだと言うべきなのでしょう。仮に「日本です。」と言います。だけど、家では日本語を話していないし、箸を使ったりしていません。それなら「フィリピンです。」と言ったとしましょう。だけど、フィリピンでの生活は慣れていないし、実のところ私はあちらの言語を上手く話せません。そんな私は、どこの出身なのか。フィリピンから日本に戻って、私はそのことをずっと悩んでいました。

しかし、ある日ある言葉に出会いました。「サードカルチャーキッズ」略して「TCK」です。その意味は、両親が生まれた国の文化と、自分が現在暮らしている国の文化のはざままで生きて独自の生活を送る子どもたちのことを言います。両親が生まれた国の文化を第一文化、自分が現在暮らしている国の文化を第二文化、独自の生活を第三文化と言い、英語でいうと「サードカルチャー」で、「サードカルチャー」をもつ子どもたちから「TCK」という名前になったそうです。私の場合、第一文化がフィリピンで、第二文化が日本、家でフィリピンの料理を食べ、外では日本語を話すという、二つの国の文化が混ざったものが、私の「第三文化」だと考えました。ネットでもっと調べてみると、私と同じように複数の国の間で子ども時代を過ごした人や、色々な国のルーツをもつ人たちが多くいることを知りました。

「TCK」。この言葉を知ったとき、私は感銘を受けました。「まさに自分がそうだ」と気づいたのです。私はひとりじゃないことに、気づきました。

それまではこう思っていました。変わっているよ、自分にとって「ふるさと」と言える国がわからないこと。おかしいよ、「どこの出身ですか」なんて簡単な質問で戸惑うなんて。でも、そんな私の考えは変わりました。



いいんだ、「ホーム」と言える場所がいくつあっても。いいんだ、自分は〇〇人とはっきり言えなくても。

私は、「サードカルチャーキッズ」の一人として、自分にしかわからない経験を将来に生かしたいです。フィリピンと日本の「架け橋」となって、この二つの国の魅力を世界に発信させ、世界中の多様な文化にも触れながら、これからの社会を築いていく一人になりたいです。

今後もグローバル化は進み、様々な人・様々な文化と関わってでしょう。その時に、皆さんに、ぜひ知っておいてほしいことがあります。

それは「誰かの育った国、文化には多様な背景があること。」お互いの背景を尊重し合って、これからの社会をつくっていきませんか。

中体連東濃大会開幕

今年度から中体連は東濃大会からのスタートとなり、北中生の出場は、6月22日の柔道競技からでした。形が変わっても、出場する生徒たちの頑張りの場であることは変わりありません。厳しい状況の時にこそ諦めない、『たくましさ』が発揮されることを大いに期待しています。(全体の試合結果は、改めて報告します。)

6月29日(土)
男女テニス東濃大会
(瑞浪市民コートにて)



7月の主な行事予定

日	曜	主な行事予定	下校時刻
7/1	月	実力テスト	15:20
2	火	部活動	16:30
3	水		16:20
4	木	市教育研究会 3A, 2D, 光2は授業公開があるため、15:15下校	13:20 15:15
5	金	部活動 PTA 本部役員会 19:00	15:50
6	土	中体連 野球・ソフトボール・バレー・バスケット	
7	日	ト・剣道	
8	月		15:20
9	火	学校保健安全委員会	16:00
10	水		16:20
11	木	2年生日間賀島研修①	15:20
12	金	2年生日間賀島研修②	16:20
13	土	卓球・バレー・バスケット・テニス	
14	日	卓球・バスケット・テニス	
15	月	海の日	
16	火	全校研究会 3年C組理科	15:00
17	水		16:20
18	木		15:00
19	金	夏季休業前授業最終日	13:40

夏季休業日 7月20日(土)~8月27日(火)
・夏の学習会 7月22日(月)~8月 2日(金)
学習会の日、バスの運行があります。

e-ライブラリをご存じですか?

「カド、ケド」といえば、小学校での家庭学習の定番で、2回、3回と繰り返し取り組み、計算や漢字を定着させたことと思います。

中学校では、5教科において、学習内容の定着のためにワークブックが配付されています。さらに学習内容を定着させるために瑞浪市では、保護者のご負担で、「e-ライブラリー」というアプリを一人一人のタブレットに導入しています。これは、学習内容のまとめと確認問題で構成されており、繰り返し学習することができます。タブレットに慣れた生徒たちにとって、わずかな時間でも、サッと、立ち上げて、使えるものになっています。学校でも学習に活用していきますが、家庭学習においても大いに活用していきたいものです。ぜひ、一度、親子でご覧になってみてください。これを使って、家庭学習を充実させていきましょう。

